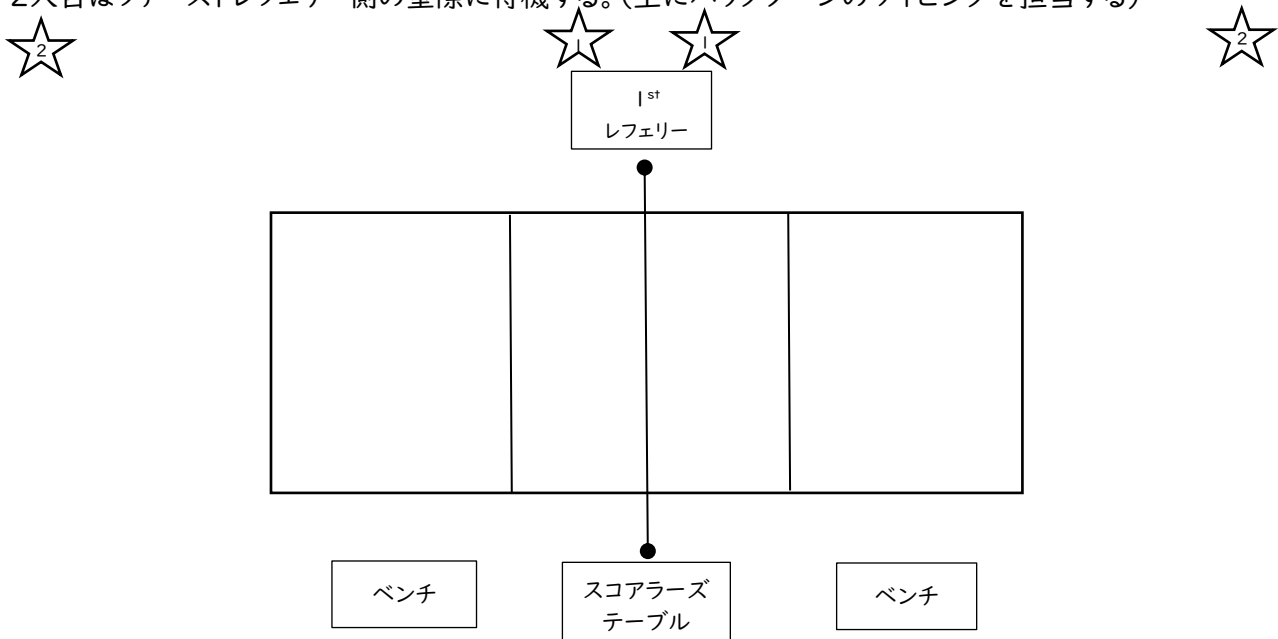


コートワイピングにおけるモップターの配置について

プレーしている選手は常にワイピングタオルを保持し、汗で濡れた場所をラリー間に自分たちで素早く拭きとらなければならない。しかし、試合の経過とともに保持しているタオルでは十分に拭きとることができないなど、試合運営が円滑に進まないことがある。この観点から、チームはコートワイピングにおけるモップターを配置してもよいこととする。モップターを配置するチームは次の点に注意すること。

1. 当該試合のチームの部員から2名まで指定された場所にモップターを配置することができる。  
当該試合に登録されているスタッフ・選手をモップターとして配置することはできない。  
服装はユニフォーム・スタッフウェア以外の統一されたもので行う。
2. 原則、ウェットスポットが発生した際はコート上にいる選手が拭き取ること。この拭き取りを補佐する目的でモップターを配置してもよい。  
モップターはウェットスポットを自分の目で確認したら、ラリー終了から次のサービスのホイッスルの間(6~8秒間)に、素早く拭き取る(実際に拭き取る時間は3秒程度)。拭き取った後は元の位置に戻ること。
3. 監督や選手が、ウェットスポットを拭き取らなことをモップターに指示することはできない。  
試合を遅らせる行為に繋がる場合は遅延警告の対象となる。
4. 各モップターの位置は次のとおりとする。  
1人目はレフェリースタンドの後ろに待機する。(主にフロントゾーンのワイピングを担当する)  
2人目はファーストレフェリー側の壁際に待機する。(主にバックゾーンのワイピングを担当する)



5. モップターが応援及びチームのマネージメント行為(ドリンク、アイシング作り等)をすることは一切禁止とする。  
それらの行為はチームに対しての警告となる。
6. モップターが熱中症等を予防するためにドリンクを持参しても構わない。ドリンクはレフェリースタンド下に置いておくこと。また、監督はモップターの健康・安全に最大限配慮すること。

以上の取扱いは神奈川県高体連バレーボール専門部が主催もしくは主管する大会のみの適用とする。